

主催事業「自然体験活動教職員講習会」 実施報告

実施日

平成 27 年 5 月 16 日～17 日

主催：神奈川県立愛川ふれあいの村
共催：神奈川県学校野外活動研究会



雨予報の中、主催事業「自然体験活動教職員講習会」をおこないました。小中学校の先生方はもちろん、自然体験活動をおこなっている指導者の方、合計 56 名にご参加いただきました。村を利用する、しないにかかわらず、教員の方や野外活動の指導者など、自然体験活動の知識や技術そして経験を積むため、さまざまな方が集まりました。

『開講式』が始まる前は緊張していた面持ちも『出会いのゲーム』ですっきり笑顔に。手遊びから同じ班の仲間、隣の班、そして班を超えてどんどん仲良くなっていきました。

ゲームの後は昼食を食べ、2班合同でおこなう『課題解決のグループワーク』。みんなで輪になり、輪になった中にフープを入れ、何秒でフープを一周させられるか、というもの。タイムを縮めるためにはどうしたらいいのか…。グループごとでいろんなアイデアを出し、自分たちのベストタイムを出していました。



課題解決のグループワークの後は、3つの選択プログラムに分かれて活動です。



①『How To エールマスター&キャンプファイヤー』では、キャンプファイヤーの構成やファイヤーキーパーとしてのポイント、そしてファイヤーの薪の組み方やゲームの展開方法などを実際におこないました。実際におこなうことで、どこがポイントなのか、どう伝えればいいのか良く分かったようです。

②『学級経営で活かせる冒険教育プログラムの手法』では、グループで課題をクリアするために、アイデアを出しあったり、時には仲間を持ち上げたり支えあったりして仲間を信じることを体感しました。机上だけで学ぶのではなく、実際に体験し感じて得たものは学級経営にも活かせることでしょう。



③『エンジョイ☆ハイキング』では、ふれあいの村を出発し、あいかわ公園へ行き、園内を散策して服部牧場へ。服部牧場では、ウマやウシ、ヒツジやシマウマなど、普段見られない動物たちとふれあって癒されました。その後、森の中を歩いて宮ヶ瀬ダムの上まで行き、ダムの下から上を見上げ、帰村しました。

プログラムは違えど、各プログラムで「なるほど!」や「そうだったのか!」という、ポイントや注意点などを聞き、しっかりと自分の中に落とし込みができた内容でした。今後の参考にしてくださいね。



各プログラムの後は、食堂で夕食を食べ、夜のお楽しみ、キャンプファイヤーです。

さあ、皆さんお待ちかね『キャンプファイヤー』です。日中の選択プログラム①『How To エールマスター&キャンプファイヤー』で展開されたゲームや各グループのスタントを交えながら楽しみました。



スタントでは、今CMで流れている3人の太郎をモデルにした劇であったり、学校の宿泊体験学習の引率であるあるネタを、今はやっているお笑いのネタで披露するグループで全体が笑いに包まれました。また、お笑いのネタとチアリーディングを組み合わせた

アクロバティックなものや野外炊事でのカレーの作り方をグループだけでなく、全員を巻き込んでおこなうグループもあり、クオリティの高いスタントが見られました。ファイヤー中は、全員が子どもに戻ったように、終始笑顔で笑い声の絶えないキャンプファイヤーになりました。

その後は交流を深めたり、ファイヤーレクのネタを仕入れたりし、お風呂に入り、明日に備えて就寝です。

2日目は気持ちのいい青空の中、『朝のつどい』をおこない、朝食を食べ、身辺整理をして『基礎から学ぶ野外炊事』です。今年のメニューは、「カレー」と「豚バラのコーラ煮」です。

「基礎から学ぶ」というタイトル通り、村で野外炊事をおこなう際のオリエンテーションを実際に聞き、炊事の際の効率の良い薪の組み方を講師から伝授していただきました。



その後、物品や薪・食材を各係で取りに行き、火起こし器を使って火を起こします。息を合わせて紐を交互に引っ張ったり、棒が外れないように上から押さえたりと、班のメンバーの協力が必要となります。制限時間30分だったのですが、全ての班が制限時間以内に火を起こすことができました。またその裏側では、ダッチオーブンで豚のバラ肉が美味しく煮込まれていました。

班で協力して起こした火で作ったご飯とカレーは絶品！この2日間の班の仲が深まったことが伺えるカレーができました。その美味しさは写真の笑顔を見れば、一目瞭然です。



昼食後、『知りたいことコーナー』でゲームやレク、施設利用に関して質問をしている方も。最後の『ふりかえり』では2日間を振り返り、体験して気付いたこと、感じたことを班のメンバーで分かち合っていました。

長いようで短かった2日間。準備の大切さや当日の運営、そして何よりも「楽しむ」という気持ちを感じられたと思います。参加された皆さんが講習会で得た知識や技術を、引率時に発揮していただけたら幸いです。

お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。(大瀧)

